

北太平洋溯河性魚類委員会の国際協力およびさけ・ます類保存の25周年のお祝い

ヴィクトリア、ブリティッシュ・コロンビア (B.C.) 州、カナダ (2017年5月19日)

北太平洋溯河性魚類委員会 (NPAFC) の第25回年次会議が2017年5月15日から19日までカナダのヴィクトリアで開催されました。この年次会議は1993年に設立されたNPAFCにとっての25周年記念となりました。5月15日(月)にヴィクトリアカンファレンスセンターで開催された歴史的な記念式典には、締約国5ヶ国から、120人の行政担当者、科学者、取締当局の職員のほか、招待講演者が参加しました。招待講演の中では、科学および取締分野での国際協力を通じたさけ・ます類の保存・管理におけるNPAFCのこれまでの成果や、NPAFC条約水域におけるさけ・ます類の保護および持続的生産の将来的な見通しなどが発表されました。

記念式典では、カナダ先住民族の「Le-la-la Dancers」の感動的な歓迎の踊り、B.C.州副知事Judith Guichon閣下、カナダ水産海洋省副大臣補佐代行Sylvie Lapointe氏の挨拶が行われました。また、それに続いて、NPAFC議長Carmel Lowe博士、各締約国の代表者、NPAFC事務局長Vladimir Radchenko博士の挨拶が行われました。

加えて、NPAFC初代議長(1993-1995)Vyacheslav Zilanov博士；米国北極研究委員会議長を務める元NPAFC議長Fran Ulmer氏；著名な漁業科学者である元NPAFC科学小委員会議長Richard Beamish博士；米国沿岸警備隊元大佐で元NPAFC取締小委員会議長Vincent O'Shea氏らによる基調講演は、この特別な日の記念となり、取締及び科学調査の分野における国際協力の重要性及び将来性に関する力強いものとなりました。

本年、委員会は、設立当初からNPAFCに対して多大な貢献を果たしてきたLoh-Lee Low博士に、名誉あるNPAFCアワードを授与しました。最近、米国国立海洋漁業局アラスカ漁業科学センターでの長年にわたる輝かしいキャリアから退職したLow博士へのNPAFCアワードの授与は、北太平洋における溯河性魚類(さけ・ます及びスチール・ヘッド)資源の保存及び管理という委員会の責務に対する、博士の継続した科学的貢献が評価されたものです。

委員会の取締分野の会議では、NPAFC締約国の取締当局間で多国間共同取締と定期的な情報交換について検討されました。日本の空港から離陸するカナダ及び米国の漁業取締航空機による監視活動は取締効果を最大化することに役立っています。また、米国と中国の二国間協定に基づき、中国国境警備隊当局者が米国沿岸警備隊の艦船に同乗し、船舶による監視活動の効率をより促進しました。

科学調査分野の会議では、締約国の主要なさけ・ます研究者が商業漁獲統計の評価・とりまとめを行いました。また、2016-2020NPAFC科学計画の研究進歩について検討するとともに、International year of the Salmon (IYS: 国際サーモン年)の促進や実現に向けて引き続き努力しました。IYSは、7年間にわたる研究、教育、アウトリーチ活動を含む重要な構想であり、NPAFCの締約国、NASCO、並びにさけ・ますの持続的利用及び保存に携わっている国立、私立、非政府機関により支援されています。

5日にわたる委員会は、ロシアがハバロフスク市における2018年年次会議に締約国を招待して、閉会しました。

-END-

連絡先：ウラジミール・ラドチェンコ NPAFC 事務局長

電 話：+1-604-775-5550

Email：secretariat@npafc.org

ウェブサイト：www.npafc.org

NPAFC について

NPAFC は北太平洋とその隣接水域におけるさけ・ます（シロザケ、ギンザケ、カラフトマス、ベニザケ、マスノスケ及びサクラマス）とスチールヘッドトラウトの保存を推進する国際組織であり、科学研究と取締活動の協力・調整の場として機能しています。NPAFC の条約水域は北太平洋、ベーリング海やオホーツク海の北緯 33°以北の公海です。NPAFC の締約国は、カナダ、日本、韓国、ロシア連邦及び米国です。